認定こども園における自己評価

たけのこ保育園　　令和　4　年度

A:大変良い
B:良い
C:一部検討を要する
D:改善を要する

◎　保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		大変良い	良い	一部検討を要する	改善を要する	
保育・教育目標について	（1）保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	23	7			・寒い日の戸外遊びは陽の当たる場所で活動したい。 ・より良い保育の実践のために、全職員で共通理解を図ることが大切である。
	（2）目標は、地域の特色を活かしているか。	22	6	1		・地域の特色をよく理解していなかった。 ・子ども達の育ちなど、担任同士情報を共有したり、疑問に思ったことは相談して自分の保育に活かしていく。
	（3）目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	20	8	2		
	（4）目標は、前年度の反省を活かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	22	8			
保育・教育について	（1）指導計画は乳幼児の実態に即して作成していますか。	22	8			・現行の保育体制では、こども一人一人に丁寧に関わるために3歳未満のクラスでは、養護の時間のために人員も含めて、保育体制の協議検討が必要だと思う。 ・一人一人の生活時間の確保ために、遊びについて職員は揃っていても、一斉になってしまう時がある。部屋の活用が必要。
	（2）環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	18	10	2		・発達状況に応じて、生活環境の構成や生活の流れがスムーズになるよう日々連携をもっていきたいと思う。特に玩具でつまずかないよう配慮したい。 ・環境を考えて整えることの重要性を改めて実感することができた。ただ、園にある素材や道具を十分に活用できているかと言われると、まだまだ活用しきれていないと思う。
	（3）素材・用具を適切に活用しているか。	15	14	1		・クラスや個人に課題があることがわかっているのに、評価して改善につなげていく話し合いが十分でなかったり、なかなか前進できず滞ってしまっている部分があると感じている。子どもの現状や成長を見据えて、環境設定や保育を行えるようにしたい。 ・環境づくりについて、スピーディに実行できるよう「実行」「反省」「改善」のサイクルをしていきたい。
	（4）評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	13	17			・園内のおもちゃ・園周辺の環境を上手に活用したい。環境や素材を活かして、楽しく保育ができるようなアイデアや技術を学びたい。
日時程	（1）１日の流れは現行で良いか。	12	15	2		・午睡について　午睡をしない子や14時以降に午睡に入る子の過ごす環境や受容（考え方）について、保護者との連携も含め検討したい。 ・朝の会や帰りの会の始める時間によって、一日の流れが変わってしまうこともあるので、全員で時間を意識していきたい 。
行事について	（1）行事の種類や実施回数は適切か。	20	9	1		・発表ウィークを上手に活用できると、本番前にドタバタすることはないかと思う。 ・今年実施した「わくわく保育」は、子ども達の興味・関心を知ることもでき、良いものだと思う。また実施したい。
	（2）行事のねらいを計画や実施に十分活かしているか。	15	14	1		・一人一人が思い切り発揮できる行事が適度なペースで行われていて成長が感じられた。 ・行事と行事の間隔が短く、突貫で準備を行うことがあったので、インターバルを持てるようになると良い。
	（3）計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	16	14			・「コロナ禍のなか、試行錯誤をして様々な行事ができていると思う」と保護者より言葉をいただけている。
	(4)保護者の願いや意見を取り入れているか。	20	10			
虐待防止について	(1)子どもに暴言や罵声を浴びせることはない	27	1			・思ったことをすぐに言ってしまうことがあるので反省。 ・指導する際の「言葉の強さ」は意識している。
	(2)子どもの失敗を必要以上に責めること(しめ出しやとりあげ)はない。	26	1	1		・０歳児は言葉を発することができないので、注意を促すことがあったら簡潔な理由を添えて伝えていくことをこれからも実行したい。 ・子ども達にしてはいけない事・相手の気持ちを考えられる様に丁寧に関わるように配慮する。ほかの先生方の関わりを参考にしていきたい。
	(3)嫌がる子どもを押さえつけるような指導はない。	26	2			・体格の大きな子が暴れてしまっている時に制することはあるが押さえつけてはいない。
	(4)アンガーマネジメント(怒りの感情は6秒待つ)を実施できている。	16	10	2		・アンガーマネージメントは、まだ意識が足りないので頭に入れて実施していきたい 。
	(5)ノンコンタクトタイムの確保と活用ができているか。	13	8	7		・うまく活用できていない。時間の使い方を検討して、職員間のコミュニケーションにつなげたい（休憩できる時間や使い方について、掃除の分担など決め事を検討し、気兼ねなくカフェを使えるようにしたい） ・カフェがあるのは嬉しい。昨年よりは時間を作ることができているがまだ不十分であると思うので、行事等の前でも行けるよう・ノンコンタクトタイムをつくれるよう検討していきたい。
経営・組	分掌・体制 (1)能率的・合理的な運営組織になっているか。	18	11	1		・業務分担と人員の活用は、日々の配慮が必要である。 ・子どもたちの安全のために、すぐに連携し、職員が助け合いながら保育できていると思う。
	分掌・体制 (2)職員の配置は適材・適所か。	16	9	5		・オムツ交換は保育者と子どもが一対一になれる貴重な時間。保育者が平等に行えるようにしていきたい。 ・各行事で担当によって熱量に大きな差ができているように感じる。どの配置にも引っ張っていける職員がいた方が良いと感じた。
	分掌・体制 (3)係や仕事の分担・割り当ては適切か。	10	17	4		・クラス担任の手が行き届かない場所の掃除や手伝いをしてもらい、ありがたいです。 ・「朝の会」担当の負担が大きいと感じている。
	運営 (1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	11	15	1		・時間が過ぎてしまうことが多いので、各クラスでまとめておく等効率的に進めていけるようにしたい。 ・毎月ミーティングを行い意見交換することができている。思ったこと・困ったことは年齢問わず発言できるようにしていきたい。
	運営 (2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	15	14			・ミーティング等について、開始時間が守られていないなどルーズになったと反省。きちんと時間を守っていきたい。 ・これまでたけのこ保育園で学んできたこと・経験・保育や子ども達への思い、保育の技術や昔からの良い所は引き継いでいけるようにしたい。
営・組	年齢別・ク (1)年齢・クラス別目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	19	10	1		・フリーとして入る職員も理解していないといけないと感じた。
	年齢別・ク (2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	19	10	1		・参考書だけでなく、目の前の子どもたちを見て目標を設定していくことで、スモールステップをたくさん踏んで賞賛する機会を多くできるよう心掛けた。

織	クラス経営	(3)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	19	10			・その日の反省や不十分であった点の検討を話し合うことで子どもが生活スタイルを崩すことなく安心・安全に過ごせると思うので、業務中にもてるよう大切にしたい。 ・「わくわくたけのこ保育」の取り組みはとても良かった。子ども達の新たな良さや可能性がみられた保育・教育になった。
		(4)評価、資料(諸記録)を集積しているか。	16	14	1		・紙媒体の記録とデータ（パソコン上で閲覧）の記録のうち、どちらのほうが集積しやすく活用できるのか検討していきたい。
	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に活かされるような具体的保健対策を講じているか。	23	8			
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	24	6			
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	23	6	1		
情報について		(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	22	7	1		・園の環境として、保護者や来訪者が職員室やクラス内に気軽に入れる特性を理解し、机上やロッカーに放置しないことを全職員で気をつけていきたい。
		(2)公文書収益、発送、処理を適切に行っているか。	21	9			
施設・設備		(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	22	7	1		・遊具、用具などの扱いについて、全職員が気を配っています。 ・日々の玩具の消毒はもちろんだが、窓ガラスがよだれや手の跡の汚れが目立つときがあった。安全面は衛生面も重要だと思うので、日々気をつけて綺麗にしていきたい。
		(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	19	10	2		・おもちゃの購入と管理が不十分な気がする。絵本管理のように誰が見ても確認しやすいようにすると良いと思う。 ・まだまだ活用しきれていないので、活用するためにはどうすれば使いやすくなるのか検討していきたい。「もとに戻す」ことも全員で意識したい。
		(3)不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。	24	6			・イベントで使うものがいつもどこに置いてあるかわからなくなってしまう探してしまうことがあるので、リスト化してコドモンの資料室やサーバーを活用し、誰でも確認しやすいようにしたい。
		(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	27	3			・掲示板などは上手に活用できていると思う。
出納経理		(1)保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか。	24	4			
開かれた子ども園づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	12	10	3	1	・コロナ禍のため交流がなかった。職員交流を含めて、質や子ども達の学び向上になるような交流を検討しても良いか。 ・学童さんとの交流は時々あるが、もっと増やしても良いと思う。 ・コロナ禍で小学校の授業参観が出来ず、交流が持てていないのは残念。 ・年長担任の経験をした職員は小学校との連携について何となく理解していると思うが、イメージのつかない職員も多いと思う。 ・子ども達の注目を集めたり、ワクワクを感じられる保育の提案・援助などを職員間で学んだり、自己評価をして、改善できるようにしたい。
		(2)参観や保育・授業等に参加するなどして小学校の教育を理解しているか。	9	16	2		
		(3)日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。	12	14	1		
	家庭・地域社会との連携	(1)保護者の意見を聞き、参観日等を設定し参観時間を考慮しているか。	25	2			・セブンイレブンさんに子ども達の作品を飾ってもらえるのは非常に良い機会だと思う。 ・コロナ禍により「ひまわり苑」との交流はなかったが、キッチンカー事業を通して地域の方々やご近所の方々が園に足を運んで下さり、交流をはかる機会になってくるかと感じる。 ・これまで以上に地域に根付いた活動を取り組んでいきたい。 ・来てもらうばかりでなく、こちらが散歩などに出かけているときもご近所の方と交流したり、地域を知る機会なのでもっと活用したい。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期、内容は適切か。	18	8			
		(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	16	10			
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	9	14	1	1	
	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	23	3			・地域の子育て支援に特化して実施している自負がある。 ・「地域子育て支援事業」では必須であったが、現在のこども園としての事業では実施していない。 ・講演会などができると良いと思う。 ・ゆっくりと落ち着いた感じで保護者が帰っていかれると感じているので、十分な支援がなされていると感じている。 ・子育て相談が必要な家庭だけでなく、保護者とのコミュニケーションも同時に大切にしていて、対応している職員を見ているだけで、私も安心感でいっぱいになっている。
		(2)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	14	10	2		
		(3)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	19	7			
		(4)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供	23	3			
	情報の発信	(1)子ども園だより・ドキュメンテーション、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	27				・コドモンを使いこなせていないものもあるが、動画や写真などでわかりやすく発信していると思う。保護者からも好印象な声を聞いている。 ・ドキュメンテーションはお知らせを配信するだけでなく、職員同士での反省や意見交換もでき、とても重要な事で、日々子どもの成長を感じ楽しく行えていて良いと思う。
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	18	9			
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	19	8			・第３者評価は実施したことがない。今後、実施を検討していきたい。
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	20	6			